



ぼえ犬通信

ぼえ犬通信 第22号 2006年5月13日発行

<http://www.kanayo-net.com/cocoroom/>

編集・発行 非営利活動法人こえとことばとこころの部屋

2006 © cocoroom All rights Reserved

定価0円(フリーマガジン)

PT Vol.22 ¥0

こえとことばとこころの
草の根マガジン



富岡邦彦 映画プロデューサー/PLANET+1代表

横山弘 小学校教諭

明大店長 某ゲーム会社人事担当

長田寛康 大阪経済大学人間科学部教授

田中秀幸 虚構船団静止画像部記録係

泉谷洋平 地理学者

ゆの ストリッパー

涼忍者 グラフィックデザイナー

杉本陽里子 某レコード会社営業部/三桑ハンソン

上田假奈代 闘う詩人/詩業家

顔を語る
10人

特集

面白い「顔」

cocoroomでは、寄付をつっています。

運営のための寄付をつっています。ご寄付いただいた方には、お名前を「ぼえ犬通信」に掲載させていただきます。3000円/1口 何口でも結構です。

宮前さん様 デイサービスでんでんむし様 加藤徹子様 田中葉子様 ありがとうございます。

三井住友銀行 天王寺駅前支店 普通1585265
トクティビエイリカツドウホウジンコトコトバココロノハヤ

郵便振替 記号01090-5-48059
ココルーム



特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋



zip556-0002 大阪市浪速区恵美須東3-4-36
フェスティバルゲート4F
tel.06-6636-1612 tel&fax. 06-6636-1662
<http://www.kanayo-net.com/cocoroom/>

- ※地下鉄御堂筋線・堺筋線「動物園前駅」5番出口直結
- ※大阪市営バス「地下鉄動物園前停留所」すぐ
- ※JR 環状線・関西線「新今宮駅」下車 徒歩すぐ
- ※南海電気鉄道・高野線「新今宮駅」下車 徒歩5分
- ※阪堺電気鉄道「南霞町駅」下車 徒歩すぐ
- ※駐車場(有料)

■新世界アーツパーク <http://www.sap-s.jp>

パートナー依頼/ココルームでフライヤーやフリーペーパー配布協力いたします。また、「ぼえ犬通信」を配布させていただけるお店の方、ご連絡下さい。

特集

面白い、「



顔は面白い

日頃面白い顔の人とばかり過ごしているから
そう思うのではない
語るものとして顔を見たとき
美人も三日では見飽きない

こえやことば以上にこころをつたえることもある「顔」
日々、人や自分の「顔」と向き合う10人に聞く、面白い「顔」とは

映画 ～行き止まりの場所としての顔

富岡邦彦 映画プロデューサー/PLANET+1代表

映画における「顔」とはまさに、登場人物の心
理であり、内省なんですね。まあ、「顔」が良
くないとナレーションでごまかしたりするのは
です。だから映画でナレーションを使うのは
本当に考えないと「顔」のダメさをカバーする
ただの説明になるのです。
優れた俳優は表情一つでその人のキャラクタ
ーを見せることができるのです。つまり映画
では優れた俳優とは「顔」と「身振り」によっ
て決まる。演技の上手い下手ではないのです。
「身振り」は要するにアクション。で「顔」は演
技でもありますが、まさに想像力ということ
になるでしょうか。ある状況でどんな顔をする
か。これは恐るべき創造なのです。映画に
はこの110年ばかりの歴史でいくつかの決定
的な瞬間というのがあります。
つまり映画史がそこで変わってしなうような
事とは例えば20年代までは映画俳優の仕
事は身振りが中心でした。サイレント時代は
もちろん白黒ですし、フィルムの感度も低く
俳優の顔は白く塗られているために表情より
身振りの役割が大きかった。つまり表情は
身振りの一つであるかのように大きかったの
です。しかし1917年のチャップリンの「移民」
には見事な瞬間があります。この物語はヨー
ロッパから憧れの夢の国「アメリカ」にやっ

てくる移民を描いたもので、チャップリンもそ
の一人、例の有名な浮浪者の姿なのですが、
船上で知り合ったエドナ親子とのお金を巡る
出会いが軸になります。ようやくニューヨーク
の港に船が入ってきて、船上はざわめき、
マンハッタンの自由の女神を見るのです。こ
こで船上の人々は当然、期待と不安に胸を膨
らませる「顔」になるのです。少し笑みをたたえ、
涙を浮かべたような、あるいは少し脅えるよ
うな顔ですね。これは判りやすい想像力。し
かし他の俳優たちにそんな顔をさせておいて、
チャップリンだけはそんな顔をしないのです
ね。というかチャップリンだけが素の無表情
を装っているのです。こんなドラマティックな
瞬間に無表情！これが大きなポイントなので
す。これは映画において本当の顔の表出され
た最初の瞬間だったのです。(写真を凝視し
た最初の瞬間だったので。写真を見れば/近日
PLANET+1でも上映予定) 他にも60年代
の「顔」を見せる「甘い生活」のマストロヤンニ、
70年代のスコット・ウィルソン、そして80
年代の「聖なる酔っ払いの伝説」のルドガー・
ハウアーも思い出されるが、女優では20年
代のリリアン・ギッシュから80年代のマリア・
デ・メディオスまで…。



富岡邦彦 ◆ Kunihiko Tomioka
60年神戸生まれ。黒沢清監督作品の数本の脚本を経て、現在10年間PLANET+1
のプログラム・ディレクターを担当している。02年には山下監督の新作「はかのハ
コ船」「リアリズムの宿」をプロデュース。「シネアストの眼」シリーズなど多数
のセルフ・ドキュメンタリーも制作。一昨年からCO2や大阪で開催される国際
映画祭のディレクターも複数担当企画。製作から映画祭、配給、上映、宣伝など映
画の全パートを探究。この4月末にはPLANET+1を中崎町に移転して、新た
にカフェ一体型の上映室となったばかり。

触覚

横山弘

小学校教諭

小学校教諭になってすぐ、顔から触角が生
えている女の子を担当したことがある。

触角は左右のこめかみの上から生えており、
50~60センチメートルほどの小麦色のお下
げ髪のような形をしていた。ただのときは
その触角は後頭部から肩にかけて緩やかに
弧を描いているだけであった。

その後、スポーツや芸術で秀でた子どもや
教師を畏れない目つきの子どもには何人か
出会ったが、触角をもった子どもにはつい
に出会うことはなかった。触角をもつ子ど
もを期待することなど無理なことなのだろ
うか……

呆気にとられる私のことなど眼中になく、
ソフトボールを50m投げ、かけっこをする
と男子を圧倒した。不規則に組まれたジャン
グルジムをましろのごとく駆け上がり、
何ということもなく降り戻るのである。

周囲の仲間たちは感嘆の声を上げるでもな
く彼女の行動を受け容れている。友達に激
しい言葉を放つわけでもなく、物静かに下
級生の世話をするやさしい子どもだったが、
クラスにいた何人かのいたずら小僧たちが
彼女には決して攻撃を仕掛けなかったのは
あの触角のためだったのだろうか？

その後、スポーツや芸術で秀でた子どもや
教師を畏れない目つきの子どもには何人か
出会ったが、触角をもった子どもにはつい
に出会うことはなかった。触角をもつ子ど
もを期待することなど無理なことなのだろ
うか……

いやいや、違うかもしれない。変わったの
は子ども達ではなく、触角をもつ子どもを
見つけるための触角をなくしてしまったそ
の後の私かもしれない。私は腕を組み校庭
を見下ろす。



横山弘 ◆ Hiroshi Yokoyama
福島県で小学校に二十六年勤務。
ガンバ監督の西野氏のブレザーを西が丘でよく見る。

顔は口ほどものをいう

明大店長 某ゲーム会社人事担当

新規学卒者の採用面接官を任されて四度目の春を迎えた。例年通りボクの行う面接の次は役員面接であり結構な大役だ。

面接の時間は30分足らず。この短い時間。一体何を基準に可否を決めるのか。ボクの基準のキメテは、学生さんの「顔の輝き」である。

人間、自分の好きなもの、熱くなっているもの、真剣なものを語るときは、誰でもいい顔をするものだ。文字通りピカピカ光ってる。

口の上手い下手は個人差があるけれど、この輝きだけは誰でも共通だ。

上手くしゃべれなくても、顔が輝きだせば、そのコが言いたいことはそのコの本当だし、例え上手いことを言ったとしても、顔が輝けなければ、その言葉の信憑性は乏しく感じる。

今年もそんなステキな顔の輝きに出会えた。

見るからに内気そうな女の子だった。緊張のあまりか最初の10分くらいはずっと赤面していた。顔の輝きは出てなかった。

しかし、事前提出してもらった書類にあった合気道に話がおよぶと、彼女の顔は見る見る光りだした。さっきまでの彼女からは想像もつかない輝きだった。

身を乗り出して自己の体験を語りだすし、そこで

得た経験をどう活かせるかなどといったこちらからの質問にも、彼女なりの答えを一生懸命伝えようとした。

もちろんボクの面接では合格とした。

正直、役員のおっさん達には受けの悪いタイプのコだろう。来年の入社式ではお目にかかれないうかもしれない。だけれども、こうやって何かに熱くなったコがある人間、熱く語れるものがあった人間は、一緒に仕事をする仲間として信用できると、少なくともボクは思うし、この顔の輝きこそ、ぶんぞりかえっているおっさん達に見てもらいたいものだと思ったからだ。

「目は口ほどにモノをいう」というが一番モノをいうのは顔だ。

そしてその顔が持つ輝きは人の心に間違いなく響く。誰もが持ち得る最大の武器だ。

ブサイクなこのボクだって、ライフワークになっている「モーニング娘。」などを擁する「ハロープロジェクト」のことを語るときは、世界のどんなイケメン俳優も霞むほどステキな顔をしてるらしい。

そうだ。

今度あのコを口説くときは、ハロープロジェクトのことを熱く語ってみよう。

顔 長田寛康 大阪経済大学人間科学部教授

コクルームからのいつもの通信かなと思っ、メールを開くと、上田さんからのお手紙で、「おっ、これは。」と一瞬眠気が覚めました。大学でたくさんの学生相手に講義をしているから、どんな気持ちで学生の顔を見ているのか書いてほしいという依頼だったので、実際は多くの学生の顔を見ているのではなく、たくさんの学生から見られているのが実情ですと返事しました。

私にはゼミ生が結構いて、彼らの顔をなかなか覚えられなくて困っています。一つは年のせいもあると思うのですが、やはり余り覚えようという気持ちが意欲意識して相手を見つめていないかということが、大切ではないかと思うのです。その証様に、私の専門は日本の仏像彫刻で、おそらく普通の人が見れば、殆ど表情がないため、どれも同じように見える仏像ですが、よ

く識別ができます。これは、仏像を見るとときには、特に意識をせずに、全神経を集中して見ているからに他なりません。学生の顔を覚えられない一つの要因が、学生の方にも生活が豊かになり、真剣に生きていく人が少なくなっているからではないでしょうか。先日、ゼミ生に「最近感動したことは何か。」と聞いたところ、「感動することがない。毎日が退屈で生きているのがしんどい。」という答えが返ってきて、驚いたことがあります。不幸を知らないことも不幸なんです。男女共々おしゃべりが上手になり、画一的な顔になっていることも確かです。そんな彼らですが、3回生の後半頃からは卒業後の進路という壁にぶつかり、社会人への脱皮を通して、良い顔になっていきます。顔に味が出てきて、眼が輝いています。不思議とそういう顔の学生は、忘れません。



長田寛康 ◆ hiroyasu osada

大阪経済大学 人間科学部 教授 KEI-D A-1ギャラー1館長
美術史、芸術文化論、博物館資料論、博物館学等を担当
1950年3月 奈良県生 56歳 和歌山県立博物館 学芸
課長を経て現職に専門 日本仏教彫刻史
大阪市 泉佐野市 和歌山県、和歌山大学等の文化財専門職員
趣味：陶芸、カトル、アートとセントポリアの栽培



明大店長 ◆ meidai tenryou

某ゲーム会社に勤務。別にゲームを作っているわけではなくただの事務担当。その正体は素人お笑い芸人、業務交遊絡のツッコミ担当でもある。明治大学広告研究所と千葉興産町保田第一海岸で繰り広げられるキャンパスストア、そして辻希美とモーニング娘。を含むハロープロジェクトをこよなく愛する関東在住のアロハがトレードマークのキモおっさん。

読むな感じる！

田中秀幸 虚構船回静止画像部記録係

まず、僕は本当に話すのも書くのも苦手で、緊張すれば簡単に口籠もり、いらぬ事を口から先へと吐き出してしまし、文体と言葉遣いが滅茶苦茶で読むにも耐え難い文章を作りだしてしまし。言いたいことから簡単に話が逸れるなんてことが日常茶飯事で、こうやって顔をテーマにコラムを書き出そうにもついつい言い訳がましく長々と前置きなんぞ書いて何が言いたいのかわからなくなってしまうのだが、そうそう、顔でしたね。目が物を言うのと申しますように、生の顔は情報が多すぎて苦手です。ましてや軽薄そのもので意思伝達がままならぬ白痴同然な虫の様な面をした生の顔は正視に耐えません。いや、むしろ本当の白痴の方が読み切れぬ顔であったりして面白いですので、言い方を変えましょう。綺麗事と偽善とホワイトバンドと部屋とワイシャツと私ってキレイと言う輩と群がるその他。生で観るに耐えられません。で、先ほどから

宣告しております生なる表現ですが、生以外となると、ファイナダー越しとなります。記憶を記録に置き換える装置の窓口。ファイナダー。便利なものでそんな群衆や一個体を記録してみたいと思うだけで、思考回路はパチンコと切り替わり、僕の目はハンターの如く、イイ顔を探す方向にもっていくことができるんですが、それも本当にそう思えばの話で、悲しい話、未だその思いに到達することはありません。日々、グツときてハツとする顔と言え、顔に現れる背景の物語濃度が硫酸の如く目に来る前に鼻に来る方へ反応してしまふばかりで、物語のない話を読む気になれない。と、ここまで書ける気がないからであって、僕個人の読心力が強くれば一目会ったその日に恋の花咲くことでもあるので、即判断ではなく、全ての事理解できる神の左目悪魔の右目を持ちたいです。顔ってオモシロイ！！



田中秀幸 ◆ hideyuki tanaka
76年生まれ。フリーのカメラマンを経て、今年の春より社員となり反社会世界からのアモンよしくデビルマンとして社会人生を送る。05年3月31日より、毎日記録する写真をインターネット上に掲載。
毎日写真掲載サイト：田中秀幸の日常写真
http://chatenane.jp/tanakaHideyuki/

美人は得？美人は徳？—顔の道德規範

泉谷洋平 地理学者

美しい顔の正直者Aさんと、美しい顔の嘘つきBさん、美しくない顔の正直者Cさんと、美しくない顔の嘘つきDさんの4人がいる。皆、お互いに自分の顔が美しいかどうかを自覚しているとする。

- A: 「Bさんは美しい。けどCさんとDさんは不細工だ。」
- B: 「Aさんは不細工だ。けどCさんとDさんは美しい。」
- C: 「Dさんは不細工だ。けどAさんとBさんは美しい。」
- D: 「Cさんは美しい。けどAさんとBさんは不細工だ。」

Bさんの発言がイヤミと響くかどうかは微妙だが、いづれにしても何か腹黒さを残す。Dさんの場合は何か卑屈な印象を残す。Cさんの発言とAさんの発言の対比は面白い。どちらも正直な発言なのに、一般的に印象が良くないのは多分Aさんだろう。次の発言を聞けばそのことがはっきりする。

- A: 「私は美しい。」
- B: 「私は不細工だ。」
- C: 「私は不細工だ。」
- D: 「私は美しい。」

これを見れば、Cさんの美德に比べてAさんの印象の悪さは決定的だ。そして、これだけを見ると、場合によってはAさんよりもBさんの方が好印象にさえ見えることだってある

かもしれない。

結局、美しい顔と美しくない顔に対する言及は、自分の顔が美しいかどうかということと、言及の対象が自分か他者かということによって、「適切な」発言かどうか（真か偽かではなく、徳か不徳か）が変化するらしい。どんな顔が美しい顔かというのは、人によっても時代によっても変わる相対的なものだけど、美しい顔/美しくない顔の区別自体は、いついかなる時でも問題にしようという意味では、より普遍的で、誰もが潜在的にはその区別のいづれかに分類される。そうすると、自分がだいたいどちらに分類されるかを見極めた上でないと、道徳的には振る舞えないということになる。30越えたら自分の顔に責任を持つなどという言葉聞いたことがあるが、なるほどと思わずにいられない。

「顔」という土俵の上では、美しいかそうでないか、真であるか偽であるか、という価値判断に比べて、徳であるかそうでないかという価値判断が圧倒的に勝利しているように思える。しかし、その価値判断でさえ、そもそもの美しいか/美しくないかの区別の上に成り立つもので、そこでは無惨にも敗北する。自分も含めた人間の「顔」を見ていると、道徳と倫理に関する決して善良でない真実が、時々ちらりとその淫らな姿を現すことがあって、実に面白いなあと思う30歳。



泉谷洋平 ◆ yohhei izumitani
ビジネスの分野で活動する複数のNPOで非常勤の仕事に請け負いながら、フリーで地理学や哲学の研究をしている。主な著作は「地名のない地理学」(2004年)、「ジオグラフィック・マトリックス・リポート—模範例としての学会発表表現」(2006年)など。



杉本陽里子 ◆ Yuriko sugimoto
某レコード会社の営業として日々笑顔を振りまくかたわら、何でも屋ユニット「三条ハンソン」のリーダーとして作曲、演奏、歌唱、舞台芸術、イベント企画など、なんでも簡単にやってみることを実証中。三条ハンソンはいろんなサブメンバーも募集しています。

杉本陽里子

某レコード会社営業部/三条ハンソン

あわてて彼女は「ふくわらい」をソファの下に隠し、彼を迎え入れた。二人しばらくたわいもない話をして、いつもの調子でカーベットに寝転んだ。彼女のすぐ横に彼の顔。彼女はさっきまで自分の手によって配置換えされていた細い目やいびつな鼻、太い唇、などをじっと見つめた。見つめられすぎた彼は恥ずかしくなり寝返りをうった。そして同時にソファの下の何かに気付いた。彼は訝しげに、ふくわらいを引っぱり出し驚いた。面白い彼の顔はさらにお面のようになった。暫くの沈黙のあとに彼は言った。「面白い顔に生まれてよかった。会ってない時も楽しませてたんだね」とその言葉の優しさや恥ずかしさになす術もなく、彼女は彼に飛びついた。子供みたいに勢よく飛び付いたから彼の顔のパーツが部屋に舞った。面白い顔で散らかった部屋、二人はいつまでも笑い合っていた。

変な顔、面白い顔

彼女の彼は変な顔、面白い顔。友達からも変とか面白いとか言われている。褒められるとしたら、『覚えやすい』か、『愛嬌がある』か、『笑いが取れる』とか、ぐらいであった。

ある日曜日昼下がり、他にすることもなく彼女はパソコンで写真の整理をしてると二人の写真がたくさんできた。それらを見てると彼女はだんだん変な衝動にかられた。彼女は彼の顔の写真を大きくプリントアウトし、出来た写真から眉毛、目、鼻、口をくりぬいていった。そしてアイマスクを着け、いわゆる「ふくわらい」をはじめた。誰もいない日曜日の昼、彼の顔を頭に思い浮かべ、面白い顔のパーツを一つ一つ、カーベットの上面においていく。アイマスクを取っては部屋に笑い声が響いていた。実写版のふくわらいとは、悪趣味。突然インターフォンがなった。彼が家を探ってきたのだ。

顔は、変わるんです。～占い師をたずねて

上田假奈代 聞 詩人/詩家

「顔はね、変わるからね、あまりあてにならないのよ」。そう言われて、マンションの一室で「ああ」とため息をついた。顔があてにならないとは。わたしはいったい何を期待していたのだろう。

夜の新大塚駅周辺は、立ち止まってファクスの地図をみてもさっぱり分からなかった。高層のマンションが立ち並び、商店もなく、歩く人もなく、生活のおいがない。風が吹き抜けていく。占う人に会うためには、この荒野の都会でまず誰かに道を尋ねなければならなかった。

誰にもあえず、やっとそれらしきマンションをみつけた。エレベーターをあがる。玄関に「占い」の看板はない。名字をたよりにベルを押した。ゆっくり扉が開かれ、ロングスカートの女性が迎えてくれた。室内には花が飾られ、大きなテーブルに向かいあって座った。占いというよりはコンサルに相談に来たような感じである。それから四時間に及ぶ長居をするとは想像もしていなかった。

この女性の職業は35年の間、占い師である。街角の占い師でもなく、店舗を構えて営業しているわけでもない。一日に多くても2人程度。部屋に通されたとき、コンサルっぽいと



Ｑ&Ａ ◆ Yuno

東京で営業職に勤しみつつも、会社にはくぐれぬも内情な体制でSMショーに出たりレスショーに出たりSMビデオに出たりする不埒者です。変態大好きな小変態。

はどうしても顔が回転盤の端辺りにきてしまい、かぶりつきのお客様と数センチというかなり至近距離な間柄。こんな距離じゃ恥ずかしくて目も開けられないし、感じているシーンで目を開けるのもおかしいし。と相方に話していたら先輩姐さんから「そういうベッドシーンでこそ客の顔を見るのよ、じっと見て自分の世界に引きずり込みなさい」とのお達し。んー、そういうものなのか…？
時間は過ぎ再び私達の出番。ラストのセクスシーン。相方におもちゃを挿入され己あえぎ声が場内に響く。私はのけぞり倒れながらも「今かぶりつきのお客様たちはどんな顔しているんだろう」と目が合う恥ずかしさはありながらも、ちょっと楽しくなってきた。多分こう、口を半開きにしていわゆる呆けた顔になっているのではないかと。そっと目を開けそこを見た私。果たして。…ショックだった。何がショックって、だってみんなすんごいイイ表情してるんだもの！
舞台上責められている私に感情移入して見ていたらしく、Mの私が敗北感じるくらいイイ表情。眉間に皺少し寄せて目は色っぽく虚ろになって口はいい感じの開き具合で…。自分そんな、いい感じ顔できないよ…。ショーの後のボラ撮影タイム。
「ゆのちゃんは入れられているときイイ顔するねえ」と何人かのお客様からお褒めの言葉をかけられるも、複雑な表情を浮かべていた私がいた。

「あの娘ぼくがイキ顔決めたらどんな顔するだろう」

ゆの ストリッパー
ストリップ劇場の舞台上がってから、一年以上過ぎた。初めて上がったときなんて、極度の緊張であえぎ声が裏がえりまったり、全く違うタイミングでいった演技をしてS役の相手を困らせたり。そんな失敗の連続ばかりで、お客様の顔を見る余裕なんてあるわけがなかった。だが、そこそこ場数をふみ舞台の構成を自ら考えるようになった今では、お客様に話しかけたり等のいじりをして笑いをとったり、反応にあわせて抑え目の演出してみたりと、なにせきちんとお客様の顔を意識して舞台を進めるようになった。私達のレスSMショーの導入部分と中間部分は主に踊り、脱がし、縛り、局所責め、鞭打ち、蠟、吊り、等等。とにかく目まぐるしく動くので、お客様はその動きに合わせて顔を左右上下に移動させては一番見たいあの部分がなんとか視界に納まるように、かなり必死ごく真面目な表情をしている。そしてラスト部分。たいていは男性器が双方ついたようなエログッズを用いてレスセクス。この部分では先のそれと違ってあまり動かない。むしろ結合部分が見やすいような体位をずっと続けながら、ひたすら腰を振り、責められあえぎ、私は快楽を享受するのみ。ただ、私はこの時のお客様たちがどんな顔をしているのか分からない。ストリップ劇場特有の回転する小さな盆舞台の上だと、レスセクスでは受身の私

オンナを遊ぶ 涼忍者 グラフィックデザイナー

自分がゲイであることには小学生くらいから気づいていた。だけど、その頃は他のゲイの人と交流するなんて無理な話だった。それで、高校生になっただけからネットでゲイのシーンを知って、たまに新宿二丁目に遊びに行くようになって、18歳のときに東京のゲイ産業の会社でデザイナーとして働きだした。人とかシーンとかとの繋がりがっているのは、新宿で遊ぶ中でできていったんだと思う。

「顔」を商売道具にしている人、ドラッグクイーンの友だちが一人いる。ドラッグクイーンのパフォーマンスにもいろいろあって、ただ二丁目で名前を売るツールとしてやっている人もいれば、ひとつの余興としてやっている人もいれば、芸術としてやっている人もいる。派手に化粧して女装して口パクで曲流すくらいは誰だって出来るわけだけど、ドラッグクイーンの設定は人それぞれなんだと思う。

ただドラッグクイーンのひとつは、本当に女性になりたいわけじゃなくて、「女を遊ぶ」という感じで舞台上立つ。だから、小綺麗なメイ



涼忍者 ◆ Ryo ninja

普段はウェブの制作会社でデザイナーをする傍ら、忍者ヲヲファンタジー(http://www.ninja-graphics.com/)の各巻でウェブに始まりタトゥーやファッションデザイナーなども手がける。22歳の物作り人でありオーナーゲイ。

個人的に思うのは、最近二丁目ドラッグクイーンをちゃんと見せ物としてやれる人がどんどん減ってきてるってこと。ここ二、三年で出てきたドラッグクイーンはほとんど見てるけど、あんまりおもしろいと思わない。キャーキャー言われてる人はいるけど、人気者が芸をやってウケると、芸が人気なのはまったく別でしょう。でもそこをちゃんと意識してる人ってそんなに多くなかったりする。

自分が化粧してお店の周年パーティのビデオに出たこともあったけど、本当ブスでひどかったな。

その坂道があがると ちいさな踏切がある
ちよろちよろとはえた夏草と 赤茶色の石がちつとしている
「むつかしいことは言わん」
電車の 通るまでつづく 長い沈黙を吸いこむように
石は 表面を陽にあてる

顔に火傷の跡があることもが
踏切のそばに住んでいた
電車が通るのは 一日に数本
線路は子どもたちの遊び場のようだ
子どもたちは帽子もかぶらずに
顔が赤くなるまで
カンカンカンと踏切の鳴る予感
の前に走り出す子どもたち
坂を駆けくだって
それから すぐ坂を駆けあがってくる
ぜいぜいぜいぜい
何度も 坂を駆けくだって 駆けあがってくる
線路の向こうに 電車の顔が小さくみえて
だんだん大きくなってくる
踏切は揺れる
坂を駆けあがってきた子どもたちは
通り過ぎる電車の風を
その顔にうけて 立ち尽くしている

カンカンカンカン 小さくなっていくカン
踏切があがると 子どもたちは線路にくりだす
しゃがみこんで 拾い集めるのだ
声にだしては笑い ときには宙に投げたり
いくつも重ねてみては 唾をとばしてふき出したりして
電車が落としていったことばを拾って 遊んでいる

顔にやけどの跡があることもが
赤茶色の石の下敷きになっていたひとつのことばを掴むと
腕をおおきくまわして 晴れた空に 投げた
いっせいに 子どもたちの顔が空をみる
すべてが赤くなりはじめた

特集 9
面白い「顔」

ライトハウスレポート最終章

～対話の午後～(第三回)

飯島秀司

私がやろうと思っていたことは、仮設喫茶にやってきた視覚障害を持つ人達の触媒となり、自然なコミュニケーションが起こるお手伝いをしよう、ということだったのだが、しばらくは参加者さんのリクエストに答え、歌うことに終始したW.S.が続いた。実のところみんな歌なんて聴きたいわけではなかったのだと思う。ギターを持った部外者への当たり前の気遣いとしてのリクエスト行為。私はやんわりと短い拒絶の言葉を発するのだが、基本的に受け身でいようと決めていたわけで、最後には「さぁみんなで歌いましょう」と音頭をとって歌うことになる。しかし、誰もが知っている曲がないという事実におぼえた。幅広い年齢層の利用者さんのリクエストに答えていっても、どこかに「さむい」空気が流れる。「歌は世につれ、世は歌につれ」。幸い演歌や昔のフォーク、ニューミュージック、懐メロなどは譜面があったので、大体どうにかあったが、問題は最近のJPOPである。正直知らないのだ。そんな私だけけれど、日本で独自進化をげたそれらの楽曲が、いかに複雑な構造をしているかは熟知しているつもりである。やたらメロディアスさを重視しつつ強引に転調。固定化した構造なのに、無意味にややこしいコードボウジング。コンプでパチパチにゲインをあげられた過剰なバックトラック。「共感」感と妄想がないまぜになった変な歌詞。いや、全部がそうと言うわけじゃないですよ。ないけどさあ。JPOP。日本の歌。

飯島秀司

今は経理の季節。夜中の3時過ぎにフラフラになって部屋に戻り、ヘッドフォンをつけ鍵盤をポロンポロンしているうちに眠っている音楽家。38歳。

正直つらい。。私は、おっさんですからね。やたらジャ○ーズをリクエストしてくる若い女性がいた。「〇〇〇〇」を弾いてください」「うう、その曲知らんなあ」「それじゃ△△△△は?」「ううう。知らんっ」「そしたら□□□□□わあ?」「全く知りません」「それじゃ聴いてくださいっ!」とCDを渡される。そして2週間後、そのCDを聴かないままライトハウスを訪れる私。そして、ひたすら同じことが繰り返される。彼女なりのコミュニケーション手段であることは判っているのだが、興味の持てないCDを聴く時間も義務も私にはない。おっさんですからね。「いいねジャ○ーズ!」とか言い出しても変ですよ。彼女も意地になってきてしまいには、ラジカセを持って来て「ほらこの曲!この曲!」と迫ってくる。仮設喫茶のがやがやした空間の中で、ラジカセに耳を近づける私。心の中で『ああこういうのが本当の意味でノイズミュージックなのだなあ』とぼんやり思いながら、場がくずれないように注意する。いやもうとっくに崩れているのだが。同時に私は、倒錯した充実感も感じていた。予定調和的なワークショップでは決して味わえないヒヤヒヤ感満載の2時間。これこれ。ライトハウスW.S.は私のビルドゥングスロマンであるよ。主体はどこだ?誰なのだ?どこまでいっても私は私なのだ。そして、結論はこうだ「ずっと平行線がいい」。

生きてるっていつまで

後藤まり子



後藤まり子

ロックバンド「ミドリ」のギターと歌を担当。
<http://midori072.com>

その日は、なんだか寝起きが悪くて、10時50分に起きなきゃ駄目なのに、11時半になっても布団でぐずぐずしてた。ぐずぐずぐずぐずしながら服を着替えて、ぐずぐずの頭のまま駅まで行って電車に乗ろうとしたら、財布があらへんかった。家までとりに行くの面倒やなあ。と、思って、カバンがさがさあさしたら、ありゃあ、携帯電話もおうちに忘れてきてるじゃあないの、僕のぼかばか、140円でできたよ。汚いカバンやなあ。うむむ、コルムまで行くんは190円かかるけど、僕、今、140円しかもってへん。たどり着かれへんあ。うーん、帰るん面倒やし、遅刻してるし、携帯電話我慢して、とりあえず、1番安い120円のキップを買って、向かおう。そんで、駅に着いたらお金を持ってきてもらおう。と、ぐずぐずな僕はキップを買った。なんでか、環状線をいつもと違う逆回りに乗ってしまった。電

車が天王寺止まりで、あーコルムはあと1駅なのに、JRもうちょい頑張れよ。なんで、乗り換えて、新今宮に到着。一安心しながら、公衆電話を探す。探す。探す。携帯電話の普及を恨む。あらへん。どうしようもないので、改札の駅員さんに尋ねる。「改札出て、左にありますよ。」とのこと。出るに連れられへんけど、駅員さん「電話を使いたいの。」とゆうて、改札を出さしてもらおう。コルムに電話をして、つるぎ君に、お金持ってきて。とゆう。電話を切って、これまた一安心して、改札の中に入れてもらう。本来の目的は、改札を出る事やっつたのに、また、改札の中に入ってしまふ。変な感じ。つるぎ君が、小銭をじゃらじゃら持ってきてくれて、お金を払って、コルムに向かう頃には、ぐずぐずの頭も、ぐずぐずじゃあなくなつてはった。

ライブラリのなかからわたしの一冊

上田假奈代



上田假奈代

詩人。書書きと睡眠と旅が好き。このところ忙しいので、もっぱら想像の旅。



渡世

荒川洋治 著

筑摩書房 1800円

さいきん考え事が多くなってきた
あなたに:★★★★★

好きな詩集をいつでも開けるように、机のうえに置いてある。背表紙は変わっていったが、その癖は子どものときから変わらない。

数年前、欲しいと思ったのに立ち読みして買わなかった詩集があった。ときどき物欲がなくなる時期があり、ちょうどその時だったのだ。覚えこもうとするかのように、詩集「渡世」の頁をめくった。屋台の風車のように、フェイクな色のネクタイをしめた道化師のようでもあり、白い帽子をかぶった可憐な少女であり、道ばたに捨てられた週刊誌であり、詩人の経験は言葉と思考の境目でピンとはりつめていた。

この詩集に再びめぐりあうのは、そう簡単ではなかった。本書は読売文学賞を受賞したが、本屋の詩集コーナーは日

日に小さくなっていくからだ。詩の一言一句が本屋になければ、どこに探しにいけばよいのか。

わたしの身体にしみこんだ一滴の言葉。数千行の滑走路をひた走りながら、くりかえし反芻しているうちに、わたしには再び手にとる「渡世」が必要になった。インターネットの本屋から取り寄せた「渡世」は、思っていた以上に小ぶりだった。銀青色のタイトル文字は、角度によって色が変わる。

「人間はよその家で死ぬこともある」から始まる「赤くなるまで(第一七行)」は、水道の検診員をしている主婦・宇野ひろ子が夏草の生い茂る家で垣根にあがって量水器の蓋を開けようとして、墜落したときに思った言葉だ。詩人の夫を持ち、一人の娘が教師に「詩人は貧乏だ」と言われ泣いて帰ってきた話などが綴られている。赤くなるまで白い帽子をかぶって量水器をさがし、数字を数える女性たちがいる。

表題作では「お尻にさわるといふ言葉は、その力のなさにおいて日本が残すことのできる最後の言葉」とくりかえし、「それは言葉がすべてあまさをそこにあるもの見えるものだけにくつつ喜びを知りそこに憩ってしまったからだ」と結び、佳良な白い最後の言葉は暗闇に消えて行く。

大団円の「田んぼ通信」

横山千秋



横山千秋

作品制作のプロセスとそこでの人間関係の動きそのものに焦点を当てたプロジェクト「大団円」発起人。2006年度には1年間に渡る農作業体験の中での作品制作を予定。
<http://daidanen.sakura.ne.jp/>

例えば、学園祭。それまでほとんど接点のなかった同級生たちと、ひとつの巨大なオブジェを作ることになる。ああじゃないこうじゃないと言いつつ計画は右往左往。当日が近くなるとみんなで遅くまで居残り、汗まみれになって作品を組み上げていく。

そのとき大切なのは、本当に作品の完成度だったのだろうか。意見をぶつけあい、ひとつの作業を共にする中で、奇妙な高揚感と一体感が生まれていく。一種の興奮状態の中で、思いがけない人と意気投合したり、すごく親密な関係になったりする。乱暴な言い方をすれば、本当は作品の出来なんてどうでもよくて、ひとつの作品を作る過程の中で発生する人と人の交流の方が、ほど重要で貴重なものだったように思う。ただ、携わる人たちにとってより納得のいく作品を目指すことは、より密度の濃い時間を過ごし、他人と深く交わるためにこそ、必要だったのではないかな。

そんなことを考えながら、僕は大学時代に「大団円」と

いうプロジェクトを始めた。メンバーを固定せず、分野も技術も経験も問わず、好きな人や興味のある人に声をかけて、一緒にライブ作品を作る。特別な時間を一緒に過ごすために、一緒にライブをする。今では全国いろいろなところに参加してくれる人がいて、友だちが友だちを連れてきて、どんどん仲間が増えていく。

これから僕たちは鈍行電車に乗って、山へ行く。人とことばと記号で埋め尽くされた都会を出発して、山と山の間で田んぼを守りながら暮らす人を訪ねる。そこで農作業の手伝いをしたり、話をしたり、遊んだりする。僕たちが親観的にイメージしている緩やかな穏やかな生活だけがそこに在るわけではないのだから。それでもできるだけゆっくり呼吸をして、生身のからだで感じたい。そこで作る作品のことも、その着地点も、今はなるべく考えない。小さな里山に、どんなことばがあつて、どんな音があつて、どんな色があるのか。そして何を考えて、何を思うのか。農村に通い、じっくりと付き合い、向き合う中で、探したい。

22,4579 何! どうでもいいことある記念の瞬間!



劔樹人
 特殊アートグループ「恋愛研究会。」のリーダーとして、日々どうでもいいことに4割くらいの力で取り組む。
<http://sutegoro.com/>

先日無事、石井聰互監督とのトークライブを終えた恋愛研究会。、いやー今回ばかりは皆緊張したようです。イトウさんなぞ大学時代、監督の映画の、劇中に登場したバンドのコピーをしたことがあるくらいの石井ファンだったわけで、それが一緒にイベントをすることになるとは、どうでもいいことも続いていると、いいことがあるものなのです。

残念なのは時間の都合上、いつもの「イトウメモ こんな石井聰互は嫌だ」がやれなかったことと、イトウさんのスケジュールの都合上、狂い咲きサンダーロードのコスプレ(段ボールにて制作予定)ができなかったことでしょうか。もちろん監督に許可をとらないといけなかったですが、監督はそれも許してくれそうな気がします。

気が付けば恋愛研究会。、バンドのはずなのに、いわゆる文化人との共演が増えております。宅八郎氏、杉作J太郎氏、吉田豪氏、ウイスット・ボンミニット氏…そしていよいよ、この夏には「エロスクラブ」 「ユルキャラ」 「いやげもの」などで有名なあの方とのイベントも!

ただ、ひとつ言っておきたいことは、僕が思う文化人の最高峰はロマン優光さんだということです。リメンバーロマンアイド!



←イトウさんのコスプレ完成予定図。狂い咲くって素晴らしい!

today's 20/365

人はお金がなくなったら、人に優しくできないんですな。

採取日時: 2006年4月23日(日) 21:40
 採取場所: ココルーム事務局

新世界で野宿生活をするTさんが来て、開口いちばんお金の話。たった一言だけで次の話題にうつったが、日雇い仕事が激減する四月。花見に浮かれられない人たちがいる。そういえば戦争体験を持つ人が桜花を見るとき、複雑な感情をもつのだと母に教えてもらった。

大和川レコードの描き採取された日常

画: 阿佐田 亘

お題: ミッキーマウス



阿佐田さんが描く絵はもう何がなんだかわかりません。

cocoroomがますます使いやすくなって 劇団バック「CO屋」

co屋5日間パック(木金土日)15万円
 co屋4日間パック(木金土日・金土日)13万円
 co屋3日間パック(金土日)10万円
 co屋2日間パック(土日)8万円

1日利用の場合:5万円/1日(夕方17:00からの使用は3万円)
 info: ココルーム tel.06-6636-1612

tel&fax06-6636-1662
 cocoroom@kanayo-net.com
 担当: 飯島、阿佐田、上田、劔、後藤

- キャバ椅子席:60 ●舞台スペース6×6m
- 音響システム完備 ●照明:調光3系統(店舗用)
- 定める使用規定にもとづいてください。
- くわしくはココルームまでお問い合わせください。

- *ステージ数間わず一律料金
- *使用時間10:00~22:30*仕込・ばらし含む
- *月曜は18:00まで*機材管理料含む(音響スタッフはつきません)
- *稽古使用は3万円*その他の曜日可
- *お客様には入場の際1ドリンク(500円)別途必要
- *情宜協力いたします!

「旬を教えてください思い出」

加久裕子

1980年福岡県に生まれ、2000年に愛知県へ一人暮らしをはじめ。2003年オープンマイクと出会い、今名古屋を拠点に詩の朗読を続ける。



暖かくなってお天気の良い日に布団を干す。ファブリーズをシュッシュツとかけて。

日本列島が春を迎え入ると、海や川、山や畑が春を感じて旬の食材が旨みを増す。

仕事帰りに近所のスーパーに寄って、山積み商品の春キャベツ買う。ひとりで一玉は食べきれないから半玉を買う。柔らかくて甘いのがあなたのいいところ。外側と芯をベーコンとサツと煮てキャベツスープにして、内側を炒り卵とマヨネーズで和えてサラダにする。余すところなく美味しく食べる。

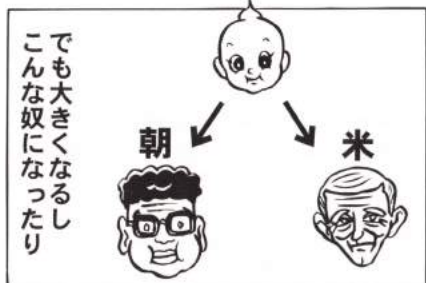
この時期になると幼かった私は、大好きな祖父に手をひかれ山へたけのこを掘りに行った。地下足袋の祖父の足が、まだ地上に顔を出していないたけのこを見つける。「ほれヒロコ、ここを掘ってみる」「うわあじいちゃん、たけのこの赤ちゃん出てきた!」いくつも掘りあげたたけのこをかごに入れて背中に背負う。家へ帰ると皮を剥かれてぬかと茹でられ、鯉だしの甘辛醤油煮にして今晚のおかずになった。旬のものが獲れるとご近所さんや友人にお裾分けして一緒に味わい分かち合う。

私は田舎のそういうところが好き。実家では今も父と母が喜ばれるとうれしいからと収穫に精を出す。私のアパートの近所のスーパーでは野菜の種類はほぼ揃っている。それでも山積み商品などでほんの少し旬を感じる。祖父との思い出が旬を学ばせてくれたように私も季節の食材を覚えておきたい。次世代へ繋げていけるように。

カオス顔 DRAW by SHACK



誰でもあの頃はかわいかった



でも大きくなるしりこんな奴になったり



さらにもなる



日本人ってこんな

於集電腦女流詩人
 交流向上百花繚乱
 詩的空間月毎更新
 随時求新同胞以愛



Web 女流詩人の蘭の会

http://www.or-ri.or.jp/~orchid/ 41575(観込み)
 ウェブ女流詩人の蘭の会 発行: 詩字社
 アンソロジー 著: RADIO DAYS ココルームでも好評販売中

http://www.os.rim.or.jp/~orchid/

むすびプロジェクト

放映作品「むすびプロジェクト」ネット公開中!
<http://www.ourplanet-tv.org/>

「むすび」とは、日雇い労働者の街・釜ヶ崎で活動する平均年齢74歳のおじさんたちによるサークル・手作り紙芝居による公演で、観る人に笑い感動を与えています。

http://musubiproj.exblog.jp/

※紙芝居・釜ヶ崎見学ツアーの申込みはココルームまで

cocoroomスケジュール

2006.5.15---2006.7.15

【cocoroom主催企画イベント】

●PPPP.C.B.N. cocoroom booking night

19:00 1500円+1d
 5/25(木)ミルル★アタシムテキ社、SAITO GIRL、Airson,hiroponn&Powell、牛仔
 6/1(木) ショートライフ ほか
 6/2(金)デンドロカカリヤ、疎外感幸子 ほか
 6/20(火) LLama、ばけぼけー、さいとう大すけ ほか
 6/23(金)ピンクグループ、佐伯誠之助、小銭喜剛+trishu+and more! ほか
 7/1(土)モーモールルギヤパン、ソラネコ、道行き ほか
 7/6(木)moon-mama、後藤まり子+扇樹人 ほか
 7/14(金)びべふば、ときめき☆ジャンボジャンボ ほか

●Books ARCHIVES

20:00 入場無料 (要1dチケット500円)
 5/15(月) 第86夜 声が明日のページをめくってゆく
 作品「モモ/ミハエル・エンテ」
 上田假奈代による公開小説朗読レコーディングイベント。

●上田假奈代のぼえ茶会

19:30 お茶お菓子付 1000円
 5/17(水)
 「本の日」あなたの好きな本を一冊持ってきて下さい。

●上田假奈代の日常きもの指南

19:00 1500円 要予約:コクルームまで (先着5名)
 5/23(火)、6/6(火)、6/13(火)

●ハローワクワクありんこ会議

18:30 800円+1d
 5/21(日)、6/18(日)、7/9(日)
 ホスト:藤井菜摘(アパレルバタンナー)、上田假奈代(闘う詩人)

●「Creation Goes On」

19:30start(出品者は18:30~19:00申し込み受付)
 出品者/見学者ともに500円+1
 5/22(月)
 進行:阿佐田巨
 表現行為の自由参加型プレゼンテーション企画。

●こんにちわ委員会

19:00 300円
 6/9(金)、7/7(金)

※1d表記のものは500円ドリンクチケットです。
 ※すべての開場は開演の30分前です。

アーティスト応援プロジェクト。パフォーマンスアーティストを中心としたブッキング形式のライブ。音楽、演劇、ポエトリーリーディング、身体表現など、ジャンルを越えたセレクションを一夜にパッケージすることで、観客層を含めた新たなシーンの創出を目指す。随時出演者募集中!!

*ブッキングマネージャーの募集もしております。
 詳しくはコクルームまで
 cocoroom@kanayo-net.com

『働く』ってなんやらか?なんやいろいろあるんとちゃうか?色んな角度で『働く』を見てみたい。みんなで話そ。見つけよう。

○藤井菜摘
 大阪モード学園卒。
 卒業後一年の無職期間(ニート?)を経て'05大阪の某アパレルにアルバイトとして入社。この春2年目に突入。

○上田假奈代
 詩人・闘う詩人・NPO法人こえとことばとこころの部屋代表。
 ホームレスの就労支援や、ぼえ茶会「生きる仕事シリーズ」の開催、インターンシップの受け入れなど、積極的に就労支援活動を行うNPO法人cocoroomの代表。

こんにちわ。こんにちわ。ここで出会って、話をしよう。話しても、何もわからんかもしれんけど、話せな、ほんまに何もわからんから、こんにちわ委員会。

大学教授、学芸員、ドキュメンタリー作家、ホテルマネージャー、起業家、福祉活動家、社会学研究者...
 様々な専門分野の人たちが集まってきます。
 みんなで話をしてみよう。

【ピックアップイベント】

■大阪市立大学大学院・創造都市研究科ワークショップ
 5/19(金) 18:30 食事なし500円 食事あり1300円
 一般参加可能

■「coco cochonnet,chocolat」
 5/20(土) 19:00 1500円+1d
 出演:有邑空玖、藤城萌子、小笠原淳、田中創、佐々木果歩

■「いっぺんかいてみる?!」
 5/24(水) 19:00 1500円+1d
 出演:赤月たいと、ゴトウイズミ+アコーディオン+豆、マドモアゼル髭髯、北村早樹子、No.305

■イラク人医師モハメッド・ヌーリー・シャキールさん支援グループ チャリティ・ライブ「HARMONIZE for LIFE」
 5/27(土) 19:00 前売り1500円+1d 当日1800円
 iraqimd2006@yahoo.co.jp

■恋愛研究会。
 5/28(日) 「吉田豪のジャングルファイト」
 19:00 前売り2500円+1d
 出演:吉田豪(プロ書評家/インタビューア)
 7/21(金) 「恋愛研究会。ツアー-2006」
 19:00 1500円+1d
 出演:テクマ!(東京)、雅だよ雅(福岡)

■クリエイティブカフェ(非公開)
 5/30(火) 19:00

■6/17(土)「未来の星」
 18:00 前売800円+1d 当日1000円+1d
 出演:アジアハウスこども劇団 ゲスト:大和川レコード・ほうき星ブラザーズ・モンキー&カイBAND
 和太鼓・インドネシア舞踊・漫才・落語・歌・詩・パーカッションなどの発表
 *6/12(月)~6/18(日) ギャラリー展示「未来の星」
 アジアハウスこども劇団のメンバーによる絵画や工作を展示。

【cocoroomから飛び出す事業】

■詩の学校
 講師:上田假奈代 受講料:1000円(筆記用具、ノート持参)
 @應典院
 5/24、6/21、7/26 すべて水曜
 19:30~21:30 単発受講可 共催:應典院
 http://www.outenin.com
 大阪市天王寺区下寺町1-1-27 tel.06-6771-7641
 @京都芸術センター
 5/25、6/22、7/27 すべて木曜
 19:00~21:00 単発受講可 共催:京都芸術センター
 http://www.kac.or.jp
 京都市中京区室町通蛸薬師下山伏山町546-2
 tel.075-213-1000

■飯島秀司 information
 飯島秀司はデンイヤーズアフターで若者に思いを届きませんか!?
 5/13(土)19:00 1500円+1d
 出演:飯島秀司 ほか
 会場:デンイヤーズアフター (06-6213-0205)
 大阪市中央区東心斎橋2-5-32 みわビル3F ヨーロッパ村

■こえとことばのワークショップ in チャッピールーム
 13:30 5/12、5/26、6/9、6/23、7/14 (すべて金曜日)
 講師:飯島秀司
 会場:視覚障害者リハビリセンターライトハウスジョイフルセンター 大阪市鶴見区今津中2-4-37
 視覚障害者とのワークショップです。

■大団円 information
 大団円田んぼプロジェクト(p.11参照)一般参加者募集中。
 田植えは6月中旬から下旬あたりに、天候と相談しつつ実施予定。
 問い合わせはcocoroom横山まで。chiaki@kanayo-net.com
 5/21(日)15:00/19:00(2回公演) 1500円+1d
 会場:雲州堂 (大阪 南森町)
 劇団『欠陥ロケット』公演「部屋に、行く」
 劇中音楽を大団円が即興演奏により担当

■ミドリ information
 「2005 SUMMER to 2006 WINTER LIVE!!」DVD-R発売中!!
 ミドリライブ会場と高円寺円盤のみの販売となります(円盤は通販可)。
 http://midori072.com

森善之 X 上田假奈代
 いまを生ききる詩人と写真家の、時間の旅

詩写真集「うた」
 世界同時発売!
 英06年初夏発売開始

発売記念展覧会も東京・大阪の2会場で開催!
 大阪会場: PAPER VOICE OSAKA GALLERY
 5月26日(金)~6月1日(木) 9:00~17:15
 (初日13:00~、18:00よりオープニングパーティ)
 TEL.06-6262-0902
 http://www.heiwapaper.co.jp/
 東京会場: WALL GALLERY
 6月16日(金)~6月29日(木) 13:00~19:00
 TEL.03-3406-1833
 http://www.g-wall.org/
 詩写真集「うた」
 著者: 森善之、上田假奈代 AD:木村泰子
 翻訳: Zub Noor、Tim Olive、石橋友美
 A4変形 88P 定価:2500円 出版社:WALL

橘安純(野宿生活パフォーマー)
 朗読パフォーマンスの仕事下さい。
 詳しくはコクルームまで

cocoroomでは、寄付をつのっています。

運営のための寄付をつのっています。ご寄付いただいた方には、お名前を「ほえ犬通信」に掲載させていただきます。3000円/1口 何口でも結構です。

宮前さん様 デイサービスでんでんむし様 加藤徹子様 田中葉子様 ありがとうございます。

三井住友銀行 天王寺駅前支店 普通1585265
トクティビエイリカツドウホウジンコトコバココロノヘヤ

郵便振替 記号01090-5-48059
ココルーム



■新世界アーツパーク <http://www.sap-s.jp>

パーティー依頼/ココルームでフライヤーやフリーペーパー配布いたします。また、「ほえ犬通信」を配布させていただけるお店の方、ご連絡下さい。

特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋

COCOROOM

zip556-0002 大阪市浪速区恵美須東3-4-36
フェスティバルゲート4F
tel.06-6636-1612 tel&fax. 06-6636-1662
<http://www.kanayo-net.com/cocoroom/>

- ※地下鉄御堂筋線・堺筋線「動物園前駅」5番出口直結
- ※大阪市営バス「地下鉄動物園前停留所」すぐ
- ※JR 環状線・関西線「新今宮駅」下車 徒歩すぐ
- ※南海電鉄本線・高野線「新今宮駅」下車 徒歩5分
- ※阪堺電軌鉄道「南霞町駅」下車 徒歩すぐ
- ※駐車場(有料)